



テーマ つながる力・つなげる力

白百合女子大学での研究や教育の営みが、今後思いもよらぬ形で地域や社会の中でつながり、多様で豊かな社会をつくりだすきっかけとなることを願い、2026年度の公開講座を開催いたします。

講座に関心を持つ
どなたでも受講できます

開催概要

- 対面式
- 会場 / 白百合女子大学 11号館 3F クララホール
都合により講座の延期や中止、内容変更等生じる場合がございます。その際には大学ホームページでお知らせいたします。ご来場の際は公共の交通機関をご利用ください。

受講料

1000円、当日支払い

申込方法

申込フォームはこちら ▶

または大学 HP よりお申込みください。
<https://www.shirayuri.ac.jp/>



4/11 Sat

10:00 ~ 11:30

堀口 康太

白百合女子大学
人間総合学部 発達心理学科
准教授

『他者とのつながり』でひろがるシニアのモチベーション!!

「働く、社会参加する、リハビリをする」。シニア世代はさまざまなことに取り組んでいます。しかし、モチベーションが上がらない、そんな時もありますよね。シニア世代のモチベーションのカギは「他者とのつながり」です。公開講座を通して、あなたも誰かとつながり、やる気について考えてみませんか。

5/9 Sat

10:00 ~ 11:30

伊東 玉美

白百合女子大学
文学部 国語国文学科
教授

『発心集』の神と仏

『方丈記』の作者でもある鴨長明の書いた仏教説話集『発心集』の後半には、「仏」ではなく「神」にまつわる説話が目立って増えてきます。跋文によれば、長明の考える神とは、仏と人をつなぐものであったらしいのですが、『発心集』を題材に、当時の日本社会に於ける神と仏について、考えてみたいと思います。

6/6 Sat

10:00 ~ 11:30

村中 由美子

白百合女子大学
文学部 フランス語フランス文学科
准教授

革命の闘士、ルイズ・ミシェルとニューカレドニア

パリの地下鉄の駅名にもなっていないながら、日本ではまだあまり知られていないルイズ・ミシェル。教師、詩人、作家、社会運動家として19世紀フランスを生きたこの女性は、流刑先のニューカレドニアで先住民族カナックの文化に出会い、その伝説や歌を記録しました。本講座では、彼女の特異な人物像をひもときながら、異文化に向けられた彼女のまなざしと言葉から、複文化を生きることについて考えます。

11/14 Sat

10:00 ~ 11:30

箕輪 理美

白百合女子大学
文学部 英語英文学科
准教授

ロマンティック・ラブの理想と結婚制度 —19世紀アメリカのフリー・ラブ思想—

18世紀末以降の欧米社会で、「愛」が結婚の主たる理由であるべきだという考え方が生まれました。当時としては革新的なこの理念が、結婚制度を次第に弱体化させてきたという議論があります。本講義では、私が研究対象としてきた19世紀アメリカのフリー・ラブ（自由恋愛）思想を取り上げながら、この問題について考えてみたいと思います。

12/5 Sat

10:00 ~ 11:30

トミヤマ ユキコ

白百合女子大学
人間総合学部 児童文化学科
准教授

マンガは人生の参考書 —女子マンガで考える自分の愛し方—

マンガは娯楽である——それは間違いありませんが、読み方を工夫することで、人生の参考書にもなるんです。マンガとジェンダー。マンガと社会問題。マンガと労働。マンガを通じてこの世界を知るためのコツをお伝えします。マンガを読み込み、読み替え、自分の生き方、愛し方を見つかけられるようになりましょう!

問合せ先

白百合女子大学 社会連携センター
☎ 03-3326-6877 ✉ renkei@shirayuri.ac.jp

白百合女子大学
〒182-8525 調布市緑ヶ丘1-25
<https://www.shirayuri.ac.jp/>

